

## 「観光×漁業」で 大船渡の魅力を発信したい！

私たち夫婦は、海の幸が大好き。特に貝類が大好き。大好物を自分で作ることができたら、嬉しくないですか？さらにそれを誰かに提供して喜んでもらえたら、それは最高に嬉しいですよ！

私にはこれまで培った「観光」のノウハウがあります。これから習得する「美味しいものを生産する仕事」と合わせ、もっともっと大船渡の美味しいものを食べに、そして素晴らしい自然を見に来てくれたらいいなと



思っています。よそ者だから分かるこの地域の素晴らしさを、ぜひたくさんの人に知ってほしいです。

そのために、まずは美味しいものをつくれるようになること。今は漁業の仕事が一番で、プラス、少しずつ土地のことを覚えて、魅力を発信して、たくさんの人に来て、知ってもらおう。それをトータルで行える漁師になりたいです。

そして私たちのように新しく漁業に入門する人へ、私たちがしてもらったようにサポートしてあげられるようになるのが目標です。



## 大船渡で叶えたい「夢」があります

移住者紹介 ～夫婦二人三脚で漁業の魅力発信～



▶ 問い合わせ先＝企画調整課(☎内線229)

## 移住を支援する制度の紹介

### ●大船渡市空き家バンクについて

#### ■空き家バンクとは

空き家バンクは、市内の利活用可能な空き家のうち、所有者が売却・賃貸を希望する物件を登録し、空き家を利用したい人に紹介する制度です。登録された物件の情報は、市ホームページなどに掲載しています。

#### ■空き家バンクの利用方法

空き家バンクの利用には、登録が必要となります。登録を希望する人は、次の書類を市役所企画調整課へ提出ください(郵送も可)。

- ▷ 空き家の所有者＝空き家バンク登録申込書、空き家バンク物件登録カード
- ▷ 空き家の利用者＝空き家バンク利用希望登録者申込書、誓約書

※申請に必要な書類は、市ホームページからダウンロードできます。

#### ■空き家バンク活用奨励金を交付します

空き家バンクを利用して売買または賃貸借契約を締結した人に対し、奨励金を交付します。

- ▷ 交付対象＝空き家の所有者と大船渡市外から移住した利用者の双方

※次のいずれかの場合、交付対象外です。

- ・大船渡市税の滞納がある。
- ・契約の相手方が、3親等以内の親族である。

- ▷ 交付金額＝所有者・利用者ともに5万円(一律) ※同一の空き家に対して1回のみ、同一の利用者に対して1回のみ交付となります。

#### ▷ 提出書類

- ・空き家バンク活用奨励金交付申請書(市ホームページからダウンロードできます)
- ・売買または賃貸借契約書の写し
- ・市税の未納がないことを証明する書類
- ・住民票の写し(利用者のみ)

- ▷ 問い合わせ先＝企画調整課企画係(☎内線229)

### ●大船渡市移住支援事業について

就業や起業について、要件を満たした東京圏からの移住者に対して移住支援金を交付します。

- ▷ 支援金額＝①単身での移住の場合＝60万円、②世帯での移住の場合＝100万円
- ▷ 申請期間＝3月15日(月)まで
- ▷ 支給対象者＝当市への移住者で以下に該当する人

- ・東京23区の在住者または東京23区への通勤者(直近10年のうち通算5年以上かつ直近1年以上)
- ・岩手県がマッチングサイトに移住支援金の対象として掲載する求人に応募した人
- ・岩手県より起業支援金の交付決定を受けた人

- ▷ 問い合わせ先＝商工課労政係(☎内線111)

#### profile

岡田薫省さん(左)／東京都町田市出身。前職は旅行会社勤務。現在は漁業(養殖)の仕事しながら、水産業の知識や技術の習得に励む。  
岡田真由美さん(右)／大船渡市の地域おこし協力隊員。SNSを通じて漁業の魅力を発信している。

■ 薫省さんの日常  
養殖漁業を勉強中  
ホヤ、ホタテ、ワカメの養

前職は全国展開する旅行会社へ勤務していた薫省さん。仕事柄東北への転勤が多く、中でも岩手・福島での勤務は勤続年数の半分を占め、東北への親しみは元々ありました。■ 生産者の「本気」を見てきた旅行会社での仕事は、生産者が育てたものをPRする側でしたが、生産者の熱い思いに触れる中で、次第に「生産すること」への憧れが大きくなったそうです。

#### 移住のきっかけ

昨年4月に東京から夫婦で移住し、三陸町越喜来地区で漁業を中心とした生活を送る岡田さんご夫婦。本号では、前職とは畑違いの仕事ながら、大船渡の漁業の発展のために奮闘する二人を紹介いたします。

殖を、水揚げから養殖施設のメンテナンス、操船・船上作業まで、親方から学びながら作業しています。

「昔は弟子が黙って親方の言うことを聞くという時代だったと思いますが、現在は違います。お互い育った環境や考え方が違うこともあるので、ぶつかることも多々ありますが、言いたいことを言い合うことで、お互い理解し合えると感じています」

#### ■ 岩手県水産アカデミー受講

県内で漁業就業を希望する人に対して必要な基礎知識や技術を習得することを目的とした講座を、月1回、4日間程度受講しています。内容は、漁業関係法令や県内漁業の状況、漁業経営、水産加工、6次産業化などについての講義や、ロープワークや網縫い方法などについての実習です。受講を通じて、県内沿岸部の漁業者と、情報交換や悩み相談などを共有することができ、心強い思いだったそう。

#### 真由美さんの日常

■ 水産振興を柱とした市のPR  
地域おこし協力隊員として、「漁業の閉鎖的なイメージを覆すこと」、「漁業者の思いを知ってもらい、理解を深めてもらうこと」などを目的に、自らが漁業へ参加し、その経験から魅力をSNSを通じて全国に発信しています。

#### ■ 水産業におけるSDGs

これから先の未来に、漁業を持続可能な産業として存続させるためには、海洋環境が重要だと思っています。

特にゴミ問題は、一人一人の心掛けて変わります。日々の食卓に並ぶ海産物の育った環境を考えるきっかけにしてほしいとの思いから、大船渡市魚市場3階の多目的ホール前において、パネル展を開催しています。

